

中1国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 77.5%

ねらい：漢字の読み方と書き方についての知識を問う。

分析と対策：「誤る」や「必至」のようなことばは、書き取りの問題でもまちがえやすい問題です。同音、同訓の読みがあることばは、どのように使い分けるのかを調べておきましょう。

2 同音・同訓異字 83.3%

ねらい：同音異義語と同訓異字についての知識を問う。

分析と対策：訓読みのままで分からないのならば音読み（熟語）、音読みのままで分からないのならば訓読みと、自分が知っていることばで置きかえられることばがないかを考えてみるでしょう。

3 敬語 55.0%

ねらい：敬語についての知識を問う。

分析と対策：敬語は、尊敬語と謙譲語の違いを正しく理解しましょう。会話の内容や主語などから、だれの動作に敬語を用いているかに着目しましょう。

4 文学的文章読解 61.4%

ねらい：登場人物の心情や場面の変化などを読み取ることができるかを問う。

分析と対策：記述や記号選択の形で出題されています。先に問題に目を通して、ヒントになりそうなことばをチェックした上で文章を読むと、効率よく問題に取りかかることができます。「読んでから探す」のではなく、「読みながら探す」ことによって、時間を上手に使いましょう。記述問題では、解答内容を整理したうえで書き出すようにするとよいでしょう。(6)では色に対する特徴的な表現を読み取ることが問われています。

5 説明的文章読解 30.9%

ねらい：文章の内容や展開、筆者の意見をなどを正確にとらえられているかを問う。

分析と対策：指示語の知識を含む問題が中心です。特に「この〇〇」といったような「指示語＋名詞」といった組み合わせは、指している箇所をしばらくやすいいのでしっかりと答えられるようにしておきましょう。(7)も指示語の問題ですが、ぬけ落ちている文を元にもどす問題の場合、あらかじめ問題に目を通しておいた上で、適切な場所を探しながら読み進めましょう。

全体の平均点は56.2点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。